

福祉入門教室を開催しました

平成25年10月に福祉入門教室を3回シリーズで開催しました。この福祉入門教室は身近に起こる福祉問題を考えたり、これから地域のために少しでも力になりたい、そんなあなたを応援する講座です。



第1講 10月25日 13:00～

エンディングノート～自分らしい人生の終活

北九州市立消費生活センター専任講師の森十四子さんをお招きし自分らしい人生の終活というテーマで今話題のエンディングノートの講座を実施しました。講座では、エンディングノートは遺された人への思いやりであり、これから先自分に起こり得ること（病気、介護、看護、葬儀、供養など）への意思表示として十分に活用して欲しいといった内容を話されていました。

参加者の方はご自身の人生の終活を考えながら講座を聴いていました。



第2講 10月25日 19:00～

傾聴ボランティア～こころのケア

「聞く」と「聴く」の違いがわかりますか？ ただ話を聞くだけではなく、相手の心をくみとり心に寄り添いながら聴くのが「傾聴」。簡単にできそうな傾聴ですが、講師のNPO法人傾聴協会このココロ代表理事である葉月優理菜さんの講座を聴き傾聴の難しさを痛感しました。

ふだん相談を受けたとき、何とか問題を解決してあげたいという気持ちで話を聞いていますが、まずは解決を急ぐことよりも、相手の気持ちをくみ取ることが大切で、「傾聴」では問題は解決できなくても良い、相手のこころに寄り添うことが大切なのだという話をされました。

今回は1回りの講座でしたが、今後また傾聴のスキルアップ、傾聴ボランティアの養成をふまえ講座を開催したいと思います。

第3講 10月28日 13:00～

消費生活問題～身近に潜む畏から身を守る

身近にひそむ悪徳商法被害。詐欺内容も年々巧妙化してきており被害者・被害額も右肩上がりとなっています。今回の講座では福岡県消費生活センターの田代倫子さんをお招きし、映像を交えて最近の詐欺手口、勧誘の断り方、どこに相談すればいいのかなど詳しく話をして頂きました。

memo

NHKの発表によるとH25/12/3現在、一年間の振り込め詐欺の全国の被害額は383億円。過去最悪を記録しています。